

1. 学校教育目標

「学びあう 心ゆたかな じょうぶな子」の育成

夢を形にする学校！（通いたくなる・通わせたいくなる・スタイルをもつ）

★児童

- ・主体的に行動できる学校
- ・相手意識のある学校
- ・夢と目標が持てる学校



★保護者・地域

- ・安全、安心、信頼
- ・共に学べる学校
- ・地域と繋がる学校



★教職員

- ・安全、安心、信頼
- ・共に学べる学校
- ・夢と目標が持てる学校

➡ 学校教育目標を形にしていく為の3要素

① 学校教育理念

「共創共育」こども達の ゆたかな 未来のために！

（浦賀小学校と学校運営協議会、PTAとの共通理念）

② 教育スローガン

浦小スタイル！ みんなで元気！（浦賀小学校教育スタイル）

（浦賀小学校としての特色のあるスタイル創り）

③ 短・中・長期目標

めざそう 一人ひとりの いちばん星☆彗

（浦賀小学校に関する将来について考えるための道標）

<見える化“5つの学校像”>

- ① 「浦小スタイル」が見える学校
 - ・「夢を形にする学校」の実現を目指す。
- ② 「いちばん星」が見える学校
 - ・目標を設定し、可能性を引き出す。
- ③ 「生きる力」が見える学校
 - ・わかる！できる！自己肯定感を育む。
- ④ 「共創共育」が見える学校
 - ・地域と共に創り、地域と共に育む。
- ⑤ 「安全安心」が見える学校
 - ・生命を尊び、生命を守る。

<育みたい“5つの児童力”>

- ① 「主体力」★主体的に物事を考え、自ら表現する児童
 - ・主体的、対話的で深い学びを学習の柱とした力の育成。
- ② 「追究力」★深く物事を考え、続けていく児童
 - ・立体的追究（深く広く長く）・有用感の意識育成。
- ③ 「対話力」★対話的に物事を考え、協力しあえる児童
 - ・学び合い、認め合い、高め合う集団を目指す力の育成。
- ④ 「自律力」★決まりの意義理解、ルールを守る児童
 - ・きまりの意義理解と規範意識を柱とした力の育成。
- ⑤ 「健康力」★思いやりのある心、じょうぶな身体の児童
 - ・健康の保持増進と体力の向上を生活の柱とした力の育成。

<めざすべき“5つの教師像”>

- ① 「学師」自ら学び・成長し続ける教師
 - ・主体的、対話的で深い学びを柱とし、児童の力を引き出す教師。
- ② 「唯師」自分だけの世界に胸を張れる教師
 - ・いちばん星（将来像）を引き出し、児童の自己肯定感を高める教師。
- ③ 「相師」自分と同じく相手を大切にする教師
 - ・学び合い、認め合い、高め合う集団を目指し、相手意識を高める教師。
- ④ 「律師」児童のロールモデルとなる教師
 - ・きまりの意義理解と規範意識の醸成を目指し、児童に魅せる教師。
- ⑤ 「健師」自分の心と身体のバランスの取り方を知る教師
 - ・健康の保持増進と体力向上を生活の柱とし、向上させる教師。

<校章>

- * 3本の扇（おうぎ）
- * 扇は浦賀港の別名「扇の港」を表す
- * 三浦（みうら）の3
- * 花は八重桜



2. 学校経営方針の基本的な考え ～ 学校教育目標の実現に向けて ～

(1) 育みたい“5つの児童力”

- | |
|--|
| ① 「主体力」 について → 「主体的、対話的で深い学び」を学習の柱とする力。
a) 学びあう力を育むために必要な力の定着。(基礎的・基本的な知識・技能)
b) 学びあう力を生かすための学習習慣の確立。(授業ルールの習慣化・系統化)
c) 「相手意識の有る適切な自己主張」による主権者意識の醸成。 (横須賀シチズンシップ) |
| ② 「追究力」 について → 「立体的追究(深く広く長く)・有用感」意識育成力。
a) 深い学びを評価し、指導者間で共有することで児童の自己有用感を高める。
b) 行動実践と継続を重視することで、立体的に追究する力の意識を高める。
c) ICT活用力と情報モラル力を両立させながら、プログラミング的思考力を高める。 |
| ③ 「対話力」 について → 「学び合い、認め合い、高め合う集団」を目指す力。
a) 集団活動を通して、適切に伝える力や適切に理解する相手意識を育成する。
b) 人・物・自然に対して、思いやる心の力と協働できる行動力を育成する。
c) 集団の総意として、ある程度納得できる「納得解」を見つける力を育成する。 |
| ④ 「自律力」 について → 「きまりの意義理解と規範意識」を柱とする力。
a) 「生きる力」の大切な要素として、自分の行動を自分でコントロールできる力を育む。
b) 決まりの意義を理解し、自主自律の精神と集団活動での協調性を育成する。
c) 基本的な生活習慣を自分事として受け止め、習慣化したいという意識を高める。 |
| ⑤ 「健康力」 について → 「健康の保持増進と体力の向上」を生活の柱とする力。
a) 食育・健康教育を通して、心身の健康の理解と維持管理の意識を高める。
b) 外遊びの奨励等、運動に親しむ機会を増やし、児童の体力向上に努める。
c) 体を動かす楽しさを経験することにより、心身のバランスを取る意識を高める。 |

(2) めざすべき“5つの教師像”

- | |
|---|
| ① 「学師」 について → 「主体的、対話的で深い学び」を柱とする教師像。
a) 自ら重点を置くべき教科を定め、継続して自己研鑽に努める。
b) 教科部会にて、カリキュラムマネジメントを生かした教育課程を編成する。
c) ブロック単位での校内研究とICT活用を柱に、日々の授業実践力を高める。 |
| ② 「唯師」 について → 「いちばん星(将来像)」を引き出す教師像。
a) 児童・教職員・保護者・地域の「夢を形にする!」、その為に自身の役割を明確に持つ。
b) それぞれのいちばん星(児童・保護者・地域・学校)を見つける継続的な指導。
c) 個々のニーズに応じた、組織的な支援体制と関係諸機関との連携に努める。 |
| ③ 「相師」 について → 「学び合い、認め合い、高め合う集団」を目指す教師像。
a) 各児童集団に適した、低・中・高ブロックを中心とした組織的な指導の充実。
b) 幼保小連携や小中一貫教育等、異学年や校種間連携を生かした継続的な指導。
c) 地域や行政など、地域資源の特色を生かした学習を、積極的に構築していく指導。 |
| ④ 「律師」 について → 「きまりの意義理解と規範意識の醸成」を目指す教師像。
a) 教育公務員としての自覚をもち、組織の一員として自分の役割を果たす。
b) “生きる力”を体現する、魅力ある大人としてのロールモデルを意識する。
c) 決まりの意義を理解し、自主自律の精神と集団活動での協調性を育成する。 |

- ⑤ 「**健師**」について → 「健康の保持増進と体力向上」を生活の柱とする教師像。
- a) 食育・健康教育を通して、心身の健康の理解と維持管理の意識を高める。
 - b) 外遊びの奨励等、運動に親しむ機会を増やし、児童の体力向上に努める。
 - c) 自然と生命を大切にすると共に、自分の身を自分で守る力を育む。

(3) 見える化 “5つの学校像”

- ① 「**浦小スタイル**」が見える学校 → **夢を形にする学校!**
- a) 児童・教職員・保護者・地域、それぞれの夢を形にする学校創りを実践する。
 - b) “目標”の見える化、短・中・長期の目標を設定し、系統化の実現に向けて実践する。
 - c) 学年目標を一覧表に整理し、各項立毎の系統的な流れに沿って実践する。
- ② 「**いちばん星**」が見える学校 → 児童の可能性を引き出す目標がある学校。
- a) 浦賀小学校全体で課題解決に向けて考える日、「いちばん星を考える日」を一日設ける。
 - b) 学校運営協議会と共に熟議することで、具体的な活動を行うプロジェクトを構築する。
 - c) “いちばん星”の見える化、10年後の自分をイメージできる児童を増やす。
- ③ 「**生きる力**」が見える学校 → わかる・できる喜びと自己肯定感を育む学校。
- a) “わかる” “楽しい” 授業の見える化を推進する。
 - b) 自己肯定感の前段階として、自己有用感の醸成を具体的に進めていく。
 - c) 「相手意識の有る適切な自己主張」を尊重できる環境を
- ④ 「**共創共育**」が見える学校 → 手を繋ぎ、地域と共に成長する学校。
- a) 学校だより、ホームページ、意見交換等を通して「**見える化**」を推進する。
 - b) 学校運営協議会を通して、実態のある地域学校協働本部を「共創」していく。
 - c) 浦賀小学校の一員として、公務ではないが大切な地域活動に貢献する。**(自主性尊重)**
- ⑤ 「**安全安心**」が見える学校 → 生命を尊び、生命を守る学校。
- a) 児童・保護者・地域と共に、児童の安全安心な教育環境を整備する。
 - b) 防災計画・訓練等、防災管理と組織活動を常に見直し、危機管理能力を高める。
 - c) 地域・公共交通機関と共に、災害時に命を守ることができる学校創りを推進する。

3. 本年度重点目標 ※いちばん星一覧表（短期・中期・長期目標）を参照

【児童】

- ① 自己有用感を意識し、目標を持つ。
 - ・個々の長期目標を意識できる。(めざそう!一人ひとりの“いちばん星☆彗”)
 - ・**忘れ物、遅刻、登校しぶりの削減**に取り組む。
- ② 自己表出手段を意識できる。
 - ・自分に適した自己表現方法を知り、実現する力の体得に取り組む。
- ③ 相手意識を持ち、適切な自己主張と主体的な行動について知る。
 - ・「自分たちで、この浦賀小学校を作っていくのだ!」という主体的な意識を育む。
 - ・相手意識のある自己主張を継続し、自ら決めたことに対して責任を持つ意識を育む。
- ④ SDGsに関する意識を持つ。
 - ・浦賀小学校として活動できるSDGs（持続可能な開発目標）について考える。

【地域・保護者】

- ① 「浦賀小学校運営協議会」を、地域連携の柱として設定する。
 - ・運営協議会委員と共に熟議を行うことで、「共創共育」の理念を具現化していく。
 - ・全校で浦賀小学校について考える、「いちばん星を考える日」を設定する。
 - ・保護者・地域・教職員連携の場として、「**拡大大学校運営協議会**」を開催する。
- ② 共に学校を創り、共に育てゆく、「**みんな事**」の意識を持つ。
 - ・学校だより、運営協議会だより等を通して、「見える化」を継続する。
 - ・共創共育の意識定着を図ることで、課題解決のための連携強化を図る。
 - ・月1回のマチコミアンケートを活用し、課題解決の為に保護者意見を聞き取る。

【学校・教職員】

- ① 実態の見える『働き方改革』として、教職員の意識改革から始める。
 - ・校務の効率化を図り、児童に向き合う時間を増やす。(授業、遊び・相談)
 - ・事故防止の観点から、紙資料の削減と業務のデジタル化を組織的に検討する。
 - ・時間の有効活用を意識する為に、退庁時間と業務内容の把握を検討する。
- ② 有効なブロック運営の在り方を探る。
 - ・教科担任制を見据えた交換授業を、各学年、各ブロックで積極的に取り組む。
 - ・学年、ブロックでの交換授業やチームとしての児童指導等の実践に取り組む。
 - ・各児童集団に適した、低・中・高ブロックを中心とした組織的な指導の充実。
- ③ 実効性のあるカリマネ開始。
 - ・「総合的な学習の時間」を柱としたカリマネの骨子を作成する。
 - ・カリキュラムマネージメントを生かした教育課程の編成に全体で取り組む。
 - ・幼保小連携や小中一貫教育等、異学年や校種間連携を生かした指導の充実。
- ④ 個の教育的ニーズに応じた組織的支援教育。(いちばん星を見つけよう＝将来像)
 - ・地域・学校の実態、児童の発達段階や特性を把握し、個々の将来像を見据える。
 - ・個の児童への理解を深め、将来を意識した指導や支援を保護者と共に構築する。
 - ・児童・安全グループを中心とした組織的な支援体制と関係諸機関との連携。
- ⑤ 学習環境整備とカリキュラム・マネージメントの構築。
 - ・評価に繋がるテストの在り方について明文化し、ルールを全体で共有する。
 - ・CromeBookの積極的な活用と共に、児童の情報モラルの力を育成する。
 - ・全学年でのICTの有効活用と、プログラミング的思考の系統性を構築する。
- ⑥ 安全・安心な教育環境の整備を推進する。
 - ・児童・保護者・地域と共に、児童の安全・安心な教育環境を整備する。
 - ・防災計画・訓練等、防災管理と組織活動の充実を図り、危機管理能力を高める。
- ⑦ 計画的な施設修繕計画の作成。➡「浦賀小学校教育環境整備長期計画」を作る。
 - ・長期的な視野に立ち、施設面の課題を整理し、修繕のロードマップを作成する。
 - ・不用品等の整理をすることで、学習環境の向上を目指す。
- ⑧ その他(公務ではないが大切な地域活動に、教職員も可能な範囲で参加する。